

[前画面へ戻る](#)

分野系列	基礎科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	日本語 I BE-A
講義名(英字)	Japanese Language I
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	大学での学習活動に必要なアカデミック日本語の文章能力を身につけることを目標にする授業です。大学でのレポート作成、論文作成に必要な基礎知識を学びます。						
【到達目標】	①文構成や句読点など基本的な文章作法を学び、文・段落の正確な表現を身につける。 ②意見文・評論文・説明文など種類別にふさわしい文章構成ができるようにする。 ③考えたことを論理的構成で文章にまとめる方法を身につける。						
【履修条件・受講推奨者】	外国人留学生対象の授業です。						
【教育方法】	教科書を使用して基礎知識を確認したあと、実際に課題として文章を書いてみて、自分で推敲します。						
【指定教科書・参考資料等】	友松悦子(著)『小論文の12のステップ』スリーエーネットワーク、2018年						
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力
	協働力		主張力	○	創造力	○	
	評価項目と割合			評価方法			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	基本的な表記方法が身につく、正確な文章が書ける。	20%	3分の2以上の出席が必要。課題70%、最終到達度テスト30%。
	指定された種類の文章構成ができる。	40%	
	データ・根拠を示しながら考えを論理的にまとめることができる	40%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	授業計画は、受講人数などを勘案して変更することがあります。
------------	-------------------------------

【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	表記のしかた、およびメールの書き方	・SNSが盛んに使われるようになり、日本語のさまざまな文章作法が細分化されています。大学ではメールを多様しますが、他のSNSとは表現や構成が異なります。メールの基本的な書き方を学び、これからの大学生活に備えます。 ・日本語の句読点や記号を正しく使い、読む人にきちんと伝わる文章を書く練習をします。いまだに使われることがある手書きの場合を想定して、原稿用紙の書き方についても触れます。		
		予習内容(時間)	シラバスを熟読。教科書のp.3-6を読み、教科書の構成を把握。	120	分
		復習内容(時間)	・メールを作成・送信。 ・課題作文。	120	分
	No2	日本語の文体	時と場合にあふさわしいファッションがあるように、日本語の文章にもいろいろな種類があり、文章の目的や読む人、場面によって文章を書き分ける必要があります。どんな場合にどの文体を使うのかを学びます。		
		予習内容(時間)	教科書p.20-22を読み、文章の種類と文体を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No3	話しことばと書きことば	日本語は、話すときと書くときではことなることばを使います。文章を受け取る相手によっても表現を変えなければなりません。話しことばと書きことばの違いを確認し、いろいろな文章による使い分けを学びます。		
		予習内容(時間)	p.34-40を読み、練習問題を解き正誤を確認。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No4	文の構造	文の構造を学びます。主語と述語の関係、修飾関係を明確にし、わかりやすく簡潔な文章を書く練習をします。		
		予習内容(時間)	p.46-55を読み練習問題を解き正誤を確認。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No5	文のつながり	文と文の間のつながりを学びます。指示語や接続詞を適切に使うことを学びます。		
		予習内容(時間)	p.62-63, 66-68, 71-73を読み、初出語を学習。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No6	小論文に使われる表現	レポートや小論文によく使われる日本語を学ぶことで、実際に論文を作成するときに役立てます。文末や助詞に注目して、論文らしい文章を学びます。		
		予習内容(時間)	p.78-79, 82-83, 85-87を読み、初出語を学習。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No7	段落構成	ある一つの内容について書いた文章のまとまりを「段落」といいます。その段落をつなげて文章にします。ここでは、ひとつの段落の中の構成、また複数の段落の構成を学び、論理的な文章を書く練習をします。		
		予習内容(時間)	p.92-95を読み、練習問題を解き正誤を確認。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No8	要約文1	要約と言うのは、文章の要点を把握して短く簡潔にまとめることです。大学での学修生活には、この要約文を書くことがよくあります。段落レベルの要約、複数の段落の要約など、段階を追って、練習します。		
		予習内容(時間)	p.106, 109, 11-112114-115を読む。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No9	要約文2	要約の練習を続けます。教科書以外の実際の新聞記事、ネットニュースなどを要約してみます。他の学生の要約文について意見交換をします。		
		予習内容(時間)	指示された文章の要約文を作成する。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分

	No10	説明文	あることを知らない人にもわかるように物事を説明する文章を書く練習をします。わかりやすく、正確に、客観的に文章を書きます。		
		予習内容(時間)	p.122-123を読んで、初めて学ぶ表現を学習しておく。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No11	意見文1	自分の意見や主張を書いて、読み手に理解してもらうために意見文を書きます。意見と感情を分け、意見と事実を分け、論拠を上手に活用した説得力のある意見文の書き方を練習します。		
		予習内容(時間)	p.128-131を読み、練習問題を解き正誤を確認。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No12	意見文2	さまざまなテーマで意見文を書く練習をします。授業では、論拠となるポイントをディスカッションをととして整理し、文章構成の準備をしてから、作文に取り掛かります。		
		予習内容(時間)	与えられるテーマの根拠となるポイントを整理してメモしておく。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No13	事実を示す文章	数値、データ、研究結果など、客観的な文章を書くときの素材をどう文章に活用するかを学びます。引用のしかたも学びます。		
		予習内容(時間)	p.140-141, 146を読み初出語を学習。	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No14	小論文の序論と結論の表現	序論、本論、結論という小論文の構成を把握し、それぞれの部分によく使われる表現を学びます。さらに実際に指定のテーマで小論文を完成させます。		
		予習内容(時間)	p.156-160を読んで、小論文の構成を把握しておく。	120	分
		復習内容(時間)	指定されたテーマで小論文を完成する。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

[前画面へ戻る](#)

分野系列	発展科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	日本語Ⅱ BE-K
講義名(英字)	Japanese Language II
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本科 目で取り扱う テーマ】	大学入学前にはあまり学ぶ機会がなかったであろうビジネス日本語を学ぶことがこの授業の目的です。大学卒業後に日本でまたは母国で日本 関連企業で仕事に就く場合、大学や一般生活の日本語とは異なるビジネス場面の日本語コミュニケーション能力が必要です。ビジネス日本語の 基本語彙を習得しながら、場面ごとに必要な読解、聴解、文章作成、待遇表現、またビジネス基本知識を学んでいきます。ビジネス日本語能力 テストBJT試験対策もします。																						
【到達目標】	ビジネス日本語の基本語彙・表現を学習する。 ビジネスの場面ごとに必要な、理解力、表現力、情報処理能力を身につける。 ビジネス日本語における読解力、聴解力、口頭表現能力、文章作成能力を身につける。																						
【履修条件・受 講推奨者】	外国人留学生対象の授業です。																						
【教育方法】	ビジネス日本語能力テストに類似した問題を使い、語彙、表現、文章構成、ビジネス基礎知識などに焦点をあてて、読む、書く、聞く、話す4技能 を伸ばします。																						
【指定教科書・ 参考資料等】	小野塚若菜ほか(著)『ビジネス日本語オール・イン・ワン問題集ー聴く・読む・話す・書く』ジャパンタイムズ、2015年																						
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td></td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力		忍耐力		協働力		主張力	○	創造力			
自制力		思考力	○	突破力		忍耐力																	
協働力		主張力	○	創造力																			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法
	ビジネス日本語の語彙がわかり、正しく表記できる。	15%	3分の2以上の出席が必要。小テスト15%、課題60%、最終到達度テスト25%。
	ビジネス場面で情報処理能力を駆使して課題達成ができる。	25%	
	ビジネス日本語の読解、聴解、文章作成能力を向上させる。	60%	
	合計	100%	

【その他の注意事項】	小テストは、授業の始めに実施する。小テストは、欠席・遅刻しても追試はしない。授業計画は、受講人数などを勘案して変更することがある。
------------	---

週	テーマ	学習内容		
No1	ビジネス日本語	これまで学習してきた生活日本語、アカデミック日本語とは異なる「ビジネス日本語」について考えてみる。今後大学生活から仕事をする時期にかけて必要な日本語の実態を意識し、学ぶ方向性を自ら考える。異文化環境で仕事をする際の異文化摩擦についても、それぞれの経験を踏まえて議論する。資格試験である「ビジネス日本語能力テストBJT」を紹介する。		
	予習内容(時間)	シラバスを熟読。教科書のp.6-9を読み、教科書の構成を把握する。	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No2	A社内メール	ビジネスメールの基本的な書き方を学ぶ。丁寧でわかりやすい簡潔なメールとはどんな形なのかを考え、適切なメール件名や箇条書きを練習する。		
	予習内容(時間)	教科書Aの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	指定された方法でメールを作成し送信。Aの語彙を学習。	120	分
No3	B会議準備	会議室の予約をする、会議の準備について同僚と相談するなどの場面の表現を学習する。頼み事をするとき・されるとき(断る)の待遇表現を学ぶ。 語彙テストA		
	予習内容(時間)	教科書Bの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	Bの語彙と表現を学習する。	120	分
No4	C電話とお詫び1	ビジネス場面で電話を取る日本語表現を学習する。適切にメモをとり、社内で電話を取り次ぐ方法を学ぶ。 語彙テストB		
	予習内容(時間)	教科書Cの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	電話のかけ手、受け手の会話を作成する。	120	分
	C電話とお詫び2	仕事上のミスをお詫びする表現を学ぶ。またそのミスを上司に報告する日本語表現を学ぶ。		

【授業計画】

No5	予習 内容(時間)	ミスを訂正したあとの連絡メールを書く。	120	分
	復習 内容(時間)	Cの語彙と表現を学習する。	120	分
No6	Dお知らせ文書1	前文・主文・末文といった基本的なビジネス文書の形式を学び、さらにさまざまな目的のビジネス文書の形式を学習する。 語彙テストC		
	予習 内容(時間)	教科書Dの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習 内容(時間)	指示のとおりビジネス文書を作成する。	120	分
No7	Dお知らせ文書2	縦書き、横書き文書の違いを抑える。適切なハガキ、封筒の表書きを練習する。		
	予習 内容(時間)	ビジネス文書さまざまなスタイルを把握しておく。	120	分
	復習 内容(時間)	Dの語彙と表現を学習する。	120	分
No8	Eキャッチコピー1	キャッチコピーとはどんなものを学ぶ。 上司の意見を聞いた際に、どんな反応がどんな意味をもつのかを考える。 語彙テストD		
	予習 内容(時間)	教科書Eの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習 内容(時間)	ある商品のキャッチコピーを作成し発表の準備をする。	120	分
No9	Eキャッチコピー2	身の回りにあるキャッチコピーを取り上げて、その商品とキャッチコピーのねらいについて発表する。 ある商品について、自分でキャッチコピーを考えて発表する。クラスでフィードバックをし合う。		
	予習 内容(時間)	ある商品のキャッチコピーを作り発表準備をする。	120	分
	復習 内容(時間)	Eの語彙と表現を学習する。	120	分
No10	F同僚との雑談1	ビジネス場面では同僚との雑談ができることも重要なコミュニケーション能力である。相手に合わせて表現を選んで話を進める方法を学ぶ。 語彙テストE		
	予習 内容(時間)	教科書Fの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習 内容(時間)	日本の休暇制度について調べる。	120	分
	F同			

	No11	僚との雑談2	同僚との雑談の中で、依頼する、断る、承諾する、断られた場合にさらに頼み込むなどの表現を学ぶ。		
		予習内容(時間)	依頼の表現、断りの表現を考える。	120	分
		復習内容(時間)	同僚との会話で、依頼する、断る会話を作成する。	120	分
	No12	G値下げ交渉	取引先と価格交渉をする場面の表現と方法を学ぶ。相手の要求を適格に把握し上司に相談する表現も考える。		
		予習内容(時間)	教科書Gの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	F/Gの語彙と表現を学習する。	120	分
	No13	H営業1	商品・サービスの営業担当と顧客の会話を学ぶ。ルート営業、飛込営業の表現の違いも含め、一覧の会話の流れを把握する。 語彙テストF/G		
		予習内容(時間)	教科書Hの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	企業の部署名、役職名を学習する。	120	分
	No14	H営業2	上司に営業の相談をする、上司から助言をもらうなどの表現を学習する。		
		予習内容(時間)	ビジネス場面で使われるカタカナ語彙を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	日本企業の営業の特徴を考える。	120	分

 前画面へ戻る

[前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	日本語Ⅲ BE-A
講義名(英字)	Japanese Language III
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	春(前)期
単位数	2

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】	日本語Ⅱに引き続き、ビジネス日本語能力テストBJT対策もしながら、日本でまたは母国で日本関連企業で仕事に就く場合に必要ビジネス日本語を学ぶことがこの授業の目的です。ビジネス日本語の基本語彙を習得しながら、場面ごとに必要な読解、聴解、文章作成、待遇表現、またビジネス基本知識を学んでいきます。							
【到達目標】	使えるビジネス日本語の基本語彙・表現を増やす。 ビジネスの場面ごとに必要な、理解力、表現力、情報処理能力を深める。 ビジネス日本語における読解力、聴解力、口頭表現能力、文章作成能力を向上させる。							
【履修条件・受講推奨者】	外国人留学生対象の授業です。							
【教育方法】	ビジネス日本語能力テストに類似した問題を使い、語彙、表現、文章構成、ビジネス基礎知識などに焦点をあてて、読む、書く、聞く、話す4技能を伸ばします。							
【指定教科書・参考資料等】	小野塚若菜ほか(著)『ビジネス日本語オール・イン・ワン問題集ー聴く・読む・話す・書く』ジャパンタイムズ、2015年							
【実務IQ修得目標】	自制力		思考力	○	突破力		忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】

評価項目と割合		評価方法
ビジネス日本語の語彙がわかり、正しく表記できる。	15%	3分の2以上の出席が必要。小テスト15%、課題60%、最終到達度テスト25%。
ビジネス場面で情報処理能力を駆使して課題達成ができる。	25%	
ビジネス日本語の読解、聴解、文章作成能力を向上させる。	60%	
合計	100%	

【その他の注意事項】

小テストは、授業の始めに実施する。小テストは、欠席・遅刻しても追試はしない。授業計画は、受講人数などを勘案して変更することがある。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	I 売上1	売り上げに関する資料やデータを読んで、グラフの内容を説明し、上司に意見を言う表現を学ぶ。		
	予習内容(時間)	教科書Iの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	データ分析の結果発表の表現を練習する。	120	分
No2	I 売上2	日本の小売業の現況について調べ、発表する。他の受講生の発表を聞いて、アドバイスをする。		
	予習内容(時間)	日本の小売業を調べ発表準備をする。	120	分
	復習内容(時間)	発表の振り返りをする。	120	分
No3	J 個人情報1	日本の企業の情報セキュリティ対策を調べる。身の回りの個人情報保護事案を調べる。 語彙テストI		
	予習内容(時間)	教科書Jの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	身近な個人情報保護の例を調べる。	120	分
No4	J 個人情報2	日本の個人情報の取り扱いについての法律や時事ニュースを調べる。		
	予習内容(時間)	教科書Jの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	個人情報に関する時事ニュースを読む。	120	分
No5	K 顧客満足度調査1	「顧客満足度」という概念について学び、企業が行うさまざまなアンケート調査について考える。アンケート調査の結果を報告する表現を学習する。 語彙テストJ		
	予習内容(時間)	教科書Kの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	アンケート調査結果報告の表現を学習する。	120	分
No6	K 顧客満足度調査2	実際に作成調査したアンケート結果を持ち寄り、報告会を行う。		
	予習内容(時間)	アンケート調査を作成し調査結果をまとめる。	120	分
	復習内容(時間)	アンケート調査報告の振り返りをする。	120	分
No7	L 出張	出張のために上司や同僚と日程調整をし、出張先で情報収集をし、出張報告書を作成するための表現を学ぶ。 語彙テストK		
	予習内容(時間)	教科書Lの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	出張報告書の所感を作成する。	120	分
No8	M 販売員増員の提案	他の人の意見を聞いたり読んだりするときに必要な表現を学ぶ。稟議書の書式を学び、自分の提案を作成して稟議書を書く練習をする。 語彙テストL		
	予習内容(時間)	教科書Mの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
	復習内容(時間)	稟議書を書く。	120	分

	No9	N パッケージ案	会議で人の意見を聞いて理解する能力を培う。委託業者に意向を伝える表現を学ぶ。商品パッケージについて考える。 語彙テストM		
		予習内容(時間)	教科書Nの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	商品パッケージについて意見をまとめる。	120	分
	No10	O インタビュー1	企業人のインタビュー記事を読んだり、インタビューを聞いたりする日本語表現を学ぶ。 語彙テストN		
		予習内容(時間)	教科書Oの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	インタビュー記事を作成する。	120	分
	No11	O インタビュー2	インタビュアー側の日本語表現を学び、インタビューを実施し、記事にまとめる。		
		予習内容(時間)	教科書Oの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	インタビュー記事を作成する。	120	分
	No12	P 日程調整	打ち合わせの日程を決め、取引先に都合を尋ねる表現を学習する。相手に合わせた待遇表現を学ぶ。 語彙テストO		
		予習内容(時間)	教科書Pの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	日程調整のためのメールを書く。	120	分
	No13	Q 衣料品業界	日本の衣料品業界の経営戦略を聞いて理解する。日本のアパレル業界について調べる。 語彙テストP		
		予習内容(時間)	教科書Qの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	アパレル業界について調べる。	120	分
	No14	R 展示会	展示会の案内状を読んだり書いたりする。展示会を開催する側になって、進捗状況を同僚や上司に報告する表現を学習する。 語彙テストQ		
		予習内容(時間)	教科Rの語彙の読み方と意味を学習する。	120	分
		復習内容(時間)	様々な展示会の情報を調べる。	120	分

 [前画面へ戻る](#)

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017) 経営学部 経営心理(留学2016) 経営学部 経営(留学2016) 経営学部 イベント(留学2016) 経営学部 経営心理(留学2015) 経営学部 経営(留学2015) 経営学部 イベント(留学2015) 経営学部 経営心理(留学2014) 経営学部 経営(留学2014) 経営学部 イベント(留学2014) 経営学部 経営心理(留学2013) 経営学部 経営(留学2013) 経営学部 イベント(留学2013)
配当学年(履修対象)	2年
講義名	日本語Ⅳ BE-K
講義名(英字)	Japanese Language Ⅳ
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日本語Ⅱ、日本語Ⅲで学んだビジネス日本語が、どのような場面でどのように使われるのかを把握するために、映像教材を使ってビジネス日本語コミュニケーションを学びます。基本的なビジネス日本語の運用の様子を視覚的にとらえることで、ビジネス日本語コミュニケーション能力のさらなる向上を目指します。							
【到達目標】	基本的なビジネスマナーを身につける。 ビジネス場面での待遇表現を身につける。 ビジネス場面に必要な日本語表現を身につける。							
【履修条件・受 講推奨者】	外国人留学生対象の授業です。							
【教育方法】	映像教材を使用し、具体的なビジネス日本語の運用方法を学びます。表現のみならず、動作やその他のビジネスマナーも映像教材で学習します。							
【指定教科書・ 参考資料等】	特になし。必要に応じて授業内で紹介する。							
【実務IQ修得目 標】	自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力	
	協働力		主張力	○	創造力			

【成績評価・評価上の留意事項(試験方法、単位修得要件)】	評価項目と割合		評価方法		
	基本的なビジネスマナーが身についている。	20%	3分の2以上の出席が必要。課題と授業参加度60%、最終到達度テスト40%。		
	ビジネス場面での待遇表現が身についている。	30%			
	ビジネス場面で必要な日本語能力が身についている。	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】	授業計画は、受講人数や進度などを勘案して変更することがある。				
【授業計画】	週	テーマ	学習内容		
	No1	ビジネス日本語について	ビジネス場面で求められる日本語はどのようなものかを考え、ビジネス日本語を運用するために必要なスキルを明確にして、今学期の各自の目標を作る。		
		予習内容(時間)	シラバス熟読。日本語Ⅱ・Ⅲの教科書を復習。	120	分
		復習内容(時間)	今学期の目標を作成する。	120	分
	No2	ビジネスマナーの基本	挨拶、自己紹介の方法、服装や動作など、日本語を使ってスムーズに仕事をするために必要なビジネスマナーを学ぶ。		
		予習内容(時間)	ビジネス場面での自己紹介を考える。	120	分
		復習内容(時間)	ビジネス場面での自己紹介を完成する。	120	分
	No3	敬語の基本	上下関係だけではなく内外の人間関係を理解し、ビジネス場面で必要な敬語の基本を学ぶ。敬語の知識のみならず、実際の場面で運用できるよう練習もする。		
		予習内容(時間)	敬語の基本を復習する。	120	分
		復習内容(時間)	場面に合わせた敬語を練習する。	120	分
	No4	敬語の使い方	クッション言葉や過剰敬語などを学び、コミュニケーションを円滑に進めるためのスキルを身につける。		
		予習内容(時間)	名詞につく「お」「ご」の復習をする。	120	分
		復習内容(時間)	身の回りで耳にするクッション言葉を収集する。	120	分
	No5	ビジネス文書の書き方	社内文書と社外文書に分けて書式を学ぶ。前づけ、本文、後付けの構成を身につける。社交文書についても触れる。		
		予習内容(時間)	日本語Ⅱ、Ⅲで学んだビジネス文書を復習する。	120	分
		復習内容(時間)	ビジネス文書を作成する。	120	分
	No6	様々なビジネス文書と書式	封筒、ハガキ、ファックス、メールなどの書き方を抑える。		
		予習内容(時間)	日本のファックス文化について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	封筒、ハガキ、ファックスを書く。	120	分
	No7	電話を受ける1	電話対応の基本的な流れと、名指し人が留守の場合の取次ぎの方法、表現を学ぶ。		
		予習内容(時間)	電話対応の流れを想定して表現を復習する。	120	分
		復習内容(時間)	電話応対取次の表現を復習する。	120	分
	No8	電話を受ける2	電話で伝言を受ける、伝言をする、問い合わせを受けるなどの表現を学ぶ。		
		予習内容(時間)	メモの取り方を考える。	120	分
		復習内容(時間)	伝言を受けて名指し人に取り次ぐ表現を復習する。	120	分
	No9	電話をかける1	電話をかけるときの流れに基づいて、基本マナーを学ぶ。		
		予習内容(時間)	電話をかける際の表現を考える。	120	分
		復習内容(時間)	電話をかける際の表現を復習する。	120	分

		電話をかける2	電話をかけた際、相手が不在の場合の対処の仕方を学習する。		
	No10	予習内容(時間)	電話をかける際の表現を復習する。	120	分
		復習内容(時間)	相手が不在の場合の表現を復習する。	120	分
	No11	訪問のマナー	取引先を訪問した際のマナーを学ぶ。訪問前の準備、訪問後のフォローに加え、自分の会社を代表する意識を持って振る舞うということについて考える。		
		予習内容(時間)	会社訪問に必要なマナーを調べる。	120	分
		復習内容(時間)	自分の名刺図案を作成する。	120	分
	No12	応接のマナー	顧客を自社に迎える際の基本的マナーを学ぶ。日本にある座席の上座下座文化について考える。		
		予習内容(時間)	上座下座文化について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	顧客を向かえる手順を復習する。	120	分
	No13	日本の就職活動1	日本の就職活動の流れとしくみについて学び、就活の準備を開始する。		
		予習内容(時間)	日本の就活について調べる。	120	分
		復習内容(時間)	就活のために必要な事柄をまとめる。	120	分
	No14	日本の就職活動2	実際の就職活動の経験者や日本企業で働いた経験者から話を聞く。		
		予習内容(時間)	具体的に聞きたい就職活動をまとめる。	120	分
		復習内容(時間)	就職活動の経験談を振り返る。	120	分

 前画面へ戻る

 [前画面へ戻る](#)

分野系列	選択科目
カリキュラム	経営学部 経営学科(留学2023) 経営学部 イベント(留学2023) 経営学部 経営学科(留学2022) 経営学部 イベント(留学2022) 経営学部 経営学科(留学2021) 経営学部 イベント(留学2021) 経営学部 経営学科(留学2020) 経営学部 イベント(留学2020) 経営学部 経営学科(留学2019) 経営学部 イベント(留学2019) 経営学部 経営学科(留学2018) 経営学部 イベント(留学2018) 経営学部 経営学科(留学2017) 経営学部 イベント(留学2017)
配当学年(履修対象)	1年
講義名	日本の社会としくみ BE-K
講義名(英字)	Japanese Culture and Society
担当教員	塩谷 由美子
必修/選択	選択必修
開講期	秋(後)期
単位数	2

【授業概要・本 科目で取り扱う テーマ】	日本語を学習する外国人留学生は、日本語のコミュニケーション能力を養成しつつも、日本社会についても学べることになります。しかし、その日本社会はいつも変化に富んでおり、見る視点が変われば異なる見え方をします。この授業では、まず「二世帯住宅」を糸口にして、そこから見える日本社会の論点を拾って学び、受講生が自ら設定したテーマについて調査分析して発表にまとめるプロジェクトワーク活動を行います。																						
【到達目標】	日本社会に興味をもち、社会の論点になっていることを取り上げて調べる。 日本社会について調査したことを、発表できる形にまとめ上げる。 他の受講生と協働して、わかりやすく発表する。																						
【履修条件・受 講推奨者】	外国人留学生対象の授業です。																						
【教育方法】	日本社会で論点になっていることを取り上げる。学期の前半は様々なテーマを外観する。学期の後半では1つのテーマについて詳しく調査してまとめ、協働作業の中で発表形式にまとめあげる。																						
【指定教科書・ 参考資料等】	特に指定しない。																						
【実務IQ修得目 標】	<table><tr><td>自制力</td><td></td><td>思考力</td><td>○</td><td>突破力</td><td>○</td><td>忍耐力</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td>○</td><td>主張力</td><td>○</td><td>創造力</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>							自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力		協働力	○	主張力	○	創造力	○		
自制力		思考力	○	突破力	○	忍耐力																	
協働力	○	主張力	○	創造力	○																		
【成績評価・評 価上の留意事 項(試験方法、 単位修得要 件)】	<table><tr><th colspan="2">評価項目と割合</th><th>評価方法</th></tr><tr><td>日本社会に興味を持ち課題を発見することができる。</td><td>30%</td><td rowspan="4">3分の2以上の出席を条件に、課題50%、プロジェクトワーク50%で評価。</td></tr><tr><td>課題について調査してまとめ、発表することができる。</td><td>50%</td></tr><tr><td>協働学習ができる</td><td>20%</td></tr><tr><td>合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合		評価方法	日本社会に興味を持ち課題を発見することができる。	30%	3分の2以上の出席を条件に、課題50%、プロジェクトワーク50%で評価。	課題について調査してまとめ、発表することができる。	50%	協働学習ができる	20%	合計	100%				
評価項目と割合		評価方法																					
日本社会に興味を持ち課題を発見することができる。	30%	3分の2以上の出席を条件に、課題50%、プロジェクトワーク50%で評価。																					
課題について調査してまとめ、発表することができる。	50%																						
協働学習ができる	20%																						
合計	100%																						

【その他の注意事項】

グループワークを実施する。協働作業の様子も重要な評価ポイントとする。授業予定は、受講生が選択するプロジェクトのテーマによって変更することがある。

【授業計画】

週	テーマ	学習内容		
No1	日本社会の論点を考える	学期後半のプロジェクトワークを見据えて、各自テーマを絞りつつ、現在の日本社会において論点となっている事柄を概観する。 まず「二世帯住宅」について学ぶ。二世帯住宅から派生する日本社会の論点を考える。		
	予習内容(時間)	シラバス熟読。時事ニュースから興味があるものを拾う。	120	分
	復習内容(時間)	二世帯住宅から派生する論点を考える。	120	分
No2	結婚と仕事1	二世帯住宅の実態から派生する、結婚・離婚の実態、職業職場の環境、男女差などを外観した後、各自テーマを絞って調査する。		
	予習内容(時間)	結婚・仕事に関する論点を調べる。	120	分
	復習内容(時間)	選択したテーマの課題作文	120	分
No3	結婚と仕事2	選択したテーマで、発表をする。他の受講生の発表から、自分のテーマの論点を深める。		
	予習内容(時間)	選択したテーマで発表の準備。	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No4	ライフサイクルと出生率1	二世帯住宅の実態から派生する、日本人のライフサイクル、少子高齢化、労働力人口問題などを外観した後、各自テーマを絞って調査する。		
	予習内容(時間)	選択したテーマで発表の準備。	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No5	ライフサイクルと出生率2	選択したテーマで、発表をする。他の受講生の発表から、自分のテーマの論点を深める。		
	予習内容(時間)	選択したテーマで発表の準備。	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No6	日本の教育1	二世帯住宅の実態から派生する、日本の教育制度、学歴社会、教育費、教育格差などを外観した後、各自テーマを絞って調査する。		
	予習内容(時間)	選択したテーマで発表の準備。	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No7	日本の教育2	選択したテーマで、発表をする。他の受講生の発表から、自分のテーマの論点を深める。		
	予習内容(時間)	選択したテーマで発表の準備。	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No8	プロジェクトワークについて	日本社会の論点をテーマに据えて、グループで発表をする準備にとりかかる。テーマを設定し、発表までの計画を立てる。		
	予習内容(時間)	グループで発表の準備	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No9	プロジェクトワーク:調査と分析	テーマに沿って調査をし、結果を分析して、発表に採用する内容を決定する。		
	予習内容(時間)	グループで発表の準備	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
No10	プロジェクトワーク:アウトライン作成	発表内容を確認し、発表のアウトラインを作成する。		
	予習内容(時間)	グループで発表の準備	120	分
	復習内容(時間)	課題作文	120	分
	プロジェクトワーク:発表構成を考える	発表の根拠となるデータ資料を準備し、アウトラインに肉付けをする。		

	No11	予習内容(時間)	グループで発表の準備	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
	No12	プロジェクトワーク:発表資料作成	発表に使用するパワーポイント資料を作成する。		
		予習内容(時間)	グループで発表の準備	120	分
		復習内容(時間)	課題作文	120	分
		プロジェクトワーク:発表練習	発表原稿を作成する。規定時間に合わせて発表練習をする。発表を聞く側からの評価ポイントを考える。		
	No13	予習内容(時間)	グループで発表の準備	120	分
		復習内容(時間)	発表練習	120	分
	No14	プロジェクトワーク:発表	各グループが発表をする。聴く側は、発表の評価をする。		
		予習内容(時間)	発表のリハーサルをする。	120	分
		復習内容(時間)	発表する側、評価する側として振り返りをする。	120	分